

# 常任委員会

第4号議案から、第14号議案までの計11議案について、定例会2日目(2月17日)の本会議で質疑が行われた後、所管の常任委員会に審査が付託されました。審査の中で議論されたおもな内容は次のとおりです。

## 総務財政常任委員会

委員長 安藤 佳生  
副委員長 制野 敬一  
委員 沼倉 昭仁・沼倉 啓介  
小川 正人・佐藤 英雄  
鈴木 康弘

とともに引き続き勤務して欲しいとの話し合いを行っている。と聞いている。

移譲については、県が主体であることから、宮城県身体障害者福祉協会のサービス維持のため、市で、できることは、協力していきたい。

◎第5号議案・白石市外二町組合の共同処理する事務の変更及び白石市外二町組合規約の変更について

〔質疑〕

不忘園に勤務する職員の一部が退職すると聞いており、サービスの維持が懸念されるが、白石市としての対応はあるのか。

〔答弁〕移譲を受ける宮城県身体障害者福祉協会が宮城県

◎第8号議案・公の施設(七ヶ宿町町営バス)の区域外設置に関する協議について

〔質疑〕新しく設置する停留所は白石市からの要望なのか、また、白石市の費用負担はあるのか。

〔答弁〕小原の藤坂地区の住民が七ヶ宿町に要望し、設置されるもので、白石市の費用負担は発生しない。

〔質疑〕七ヶ宿町町営バスと

白石市民バスが同一路線を運行しているが、この路線の利便性を向上させるための七ヶ宿町との調整はどのように行うのか。

〔答弁〕同一路線部分については、それぞれの市町で開催する公共交通会議にお互いが参加し、調整と協力を行っていききたい。



◎第9号議案・第五次白石市総合計画基本構想を定めることについて

〔質疑〕この基本構想の中で予算的な裏付けはないのか。

〔答弁〕基本構想は白石市の将来像、進むべき方向性を決めるものであり、財政的な裏付けがあるものではない。構想の目標を実現するため、基本計画、実施計画等を定め、進めていくものである。

〔質疑〕「産業の活力を生む新しい価値を創造し続けるま

ち」とあるが、大胆に企業誘致を進める取り組みが必要ではないのか。

〔答弁〕企業誘致のやり方として、奇抜な方法、飛び抜けた宣伝など、様々な方法が考えられるが、それらを含め、今後、県と一体となり、なお一層、誘致活動を進めていきたい。

〔質疑〕基本構想の10年後の予想人口は3万4千人余りとなっているが、「4万人都市復活大作戦」との違いをどのように理解すればいいのか。

〔答弁〕施政方針で示しているとおり、「4万人都市復活大作戦」の施策を、第五次総合計画の5つの目標の施策に組み替え、「人・暮らし・環境が活きる交流拠点都市づくり」を新たな戦略テーマとすることとしている。

〔質疑〕基本構想の市民への周知はどのように行っていくのか。

〔答弁〕広報しろいし5月号に特集記事を掲載するとともに、ホームページに掲載する予定である。

## 建設産業常任委員会

委員長 山谷 清  
副委員長 大町 栄信  
委員 菅野 恭子・菅野 浩一  
安斎 多実男・志村 新一郎  
大野 栄光

◎第13号議案・白石市道路線の廃止について及び第14号議案・白石市道路線の認定について

〔質疑〕今回の市道廃止・認定の内容について伺いたい。

〔答弁〕今回の市道廃止・認定は深谷地区工業団地造成、沖の沢郡山線工事によるものがほとんどであるが、始点・終点のどちらかが変われば、廃止し、再認定している。

〔質疑〕市道鎌倉線の廃止・認定の内容について伺いたい。

〔答弁〕市道鎌倉線は明戸からスパシユランドパークを通り、小久保平原線に繋がっていたが、平成19年に起きた地滑りにより、小久保平原線に接続しなくなり、途中で止まってしまったため、今回市